

会 議 録

会 議 名	(仮称)小金井市貫井北町地域センター建設実施設計 第5回市民検討委員会		
事 務 局	公民館		
開 催 日 時	平成23年12月11日(日) 午前10時から11時50分		
開 催 場 所	市役所第二庁舎8階 801会議室		
出 席 委 員	渡辺委員長 浅野副委員長 福島委員 多田委員 桂委員 平井委員 零委員 三島委員 中村委員 松尾委員 藤井委員		
欠 席 委 員	伊藤委員		
事 務 局 員	天野生涯学習部長 大関公民館長 田中図書館長 杉村主査 坂本建築営繕課長 池田副主査 黒田主事 山崎庶務係長 渡辺事業係長		
事 業 者	株式会社 前川建築設計事務所 橋本、田中、畑野 株式会社 ユニ設備 嘉部(電気設備)、鳶田(機械設備)		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可 の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 設備計画について (1) 電気設備(照明、コンセント 他)について (2) 機械設備(空調、給排水衛生)について 2 緑化計画について 3 福祉のまちづくり関連について 4 その他 (1) 平面計画について(西日対策含む) (2) 断面・立面計画について (3) 飲食コーナーについて 5 次回の開催日程について 6 配付資料 (1) 照明・空調器具配置図 …実施設計検討委員会資料 26 (2) 衛生器具一覧表(案) …実施設計検討委員会資料 27 (3) 外構平面図 …実施設計検討委員会資料 28 (4) 福祉のまちづくりに関する資料 …実施設計検討委員会資料 29 (5) 各階平面図 …実施設計検討委員会資料 30 (6) 西日対策に関する資料 …実施設計検討委員会資料 31 (7) 断面図・立面図 …実施設計検討委員会資料 32		

会 議 結 果

大関公民館長 (仮称)小金井市貫井北町地域センター建設実施設計における第5回目の市民検討委員会を開催する。今回が検討及び協議の場としての最後の委員会となるのでその旨ご理解いただきたい。

会議開始にあたって

大関公民館長 本日の欠席者の報告だが、伊藤委員から欠席にご連絡をいただいている。続いて配布資料の確認と会議録のご承認をお願いしたい。事前に前回の会議録をお送りしている。

本日配布しているのは資料26から資料32までで、設備図面等となっている。ご承認をお願いしたい。

— 配布資料の確認 —

大関公民館長 続いて、前回(第4回)会議録の承認をお願いしたい。

— 承認 —

渡辺委員長 皆さん、おはようございます。

早速議題に沿って説明していただきたいと思う。時間の制約がある委員の方もいらっしゃるようなので、出来るだけコンパクトにまとめて説明していただきたい。

1. 設備計画について

前川・田中 本日のテーマとしては、設備計画として照明と空調の考え方について整理した内容、次に緑化計画、福祉のまちづくり、その他として前回からの修正箇所を示した平面計画と生活室や創作室についてお話ししたい。

(1) 電気設備(照明、コンセント 他)について

(2) 機械設備(空調)について

— 資料26及び映像による説明 —

前川・田中 全体的なこととして意匠性、機能性、経済性を考慮して、照明器具の選定、配置計画をしていく必要がある。

1) 全体的な照明計画について

①照度について：閲覧、学習、フリースペース、事務系の机上面で、平均照度500ルクスを目標に設定

②器具の種類について：

- ・ 1階、2階共にロビーやフリースペース、家具配置に規則性のない範囲にLED式ダウンライト型
- ・ 図書館高書架廻りや学習諸室を直管型HF蛍光灯
- ・ 壁面掲示板廻りや図書閲覧机等に専用のLED式照明器具を配置

2) 全体的な空調計画について

①冷暖房設備について：

- ・屋上にガス熱源の室外機を設置
- ・屋内機は1階ロビー、2階ロビーやフリースペースは、機器本体を天井内に隠蔽するタイプを採用し、天井の高い北町ホールは壁内隠蔽にして、吹出口のみ露出させる

- ・1階図書館、2階の諸室を天井面に露出するカセット型とする

②換気設備について：

- ・屋上に熱回収外気処理機を設置しダクトで室内の吹出口に接続
- ・天井には吹出口のみ露出
- ・加湿の機能を兼ねた機器
- ・各事務室は、個別対応型空調換気扇

3) 図書館の照明計画について

①器具の選定について

- ・入口から斜め奥へ向う雁行したメイン動線、児童コーナー、ブラウジングコーナー、閲覧コーナー廻りは、家具配置に規則性がないこと、書架についても児童用低書架であることにより、直管型蛍光灯、ダウンライトどちらを選んでも配光上、照度的に差がでないため、意匠性を考慮してLED式ダウンライトを選定
- ・高書架コーナーについては、メイン動線に直行方向に配置した書架に対して均一な照度が得られるように、書架と並行で直線的に連続な下面開放の直管HF蛍光灯を配置
- ・閲覧机、窓際のカウンターには、専用のデスクライトを配置
- ・掲示用の壁面や柱には専用の照明を配置し、アクセント的な役割も果たす
- ・お話コーナーは調光可能なLED式ダウンライトを配置
天井際周囲にアクセント的な間接照明を配置。
- ・貸出カウンターの上部は天井を下げ館内より見えやすいサインを兼ねた光天井とする。
- ・照度分布も確認している（概ね500ルクス確保している）

②省エネについて：

LED式ダウンライトの採用（蛍光灯型より50%程度節電）

ゾーンごとに間引き点灯可能とする（メンテ時は通常時の半分で設定）

- ・高書架の部分をLEDタイプを採用しない理由として、現況LED方式で同じ効果を求めると、導入コストが高いこと、消費電力が蛍光灯と比べてさほど効果的でない（先程の50%から20%くらいになる）ため、現時点の計画ではHFタイプを採用する予定
- ・屋上に設置する太陽光発電設備を20kwの設定で設計しているが、晴天時には1階と2階の照明を賄うことが出来る

4) 図書館の空調計画について

- ・露出型と隠蔽型のメリット・デメリットは相反する部分はあるが、性能を確保する上でのコストパフォーマンスを考慮し露出型（カセット型）を選定する

- ・センサー機能が発達し、1台の機器で4方向の人を検知し、床面温度も検知できるようになったため、各吹出口毎の風量制御が出来る
- ・大部屋のため、窓側と壁側の環境差についても有利と考える

5) 公民館の照明計画について

①器具の選定について

- ・階段、ロビーからフリースペース廻りは、平面が楕円形であること、家具配置に規則性がないことより LED 式ダウンライトを採用
- ・学習室、ITルーム、創作室等は机の配置を考慮し、直管型蛍光灯を採用
- ・フリースペースの机上面も、照度 500ルクス程度確保できるよう配置
- ・壁面展示スペースは、スポットライトを設置し、展示物の演出を行える
- ・事務カウンターの上部は図書館と同様に、天井を下げ館内より見えやすいサインを兼ねた光天井とする
- ・照度分布もフリースペースについては概ね 500ルクス（初期照度の 70%）確保している（ロビーは 400ルクス程度）

②省エネについて

- ・図書館と同様に LED 器具を採用し、ゾーンごとの間引き点灯が可能

6) その他

①コンセント設備

- ・図書館の西側カウンターにもコンセントを設ける
- ・フリースペースにはメンテナンス用のコンセントのみで、市民が自由に使えるものは設けない

②トイレ照明

- ・人感センサーを設置（設定時間については 10 秒から 30 分まで対応可能）

7) 公民館の空調計画について

- ・ロビーやフリースペースは天井内隠蔽型を採用
- ・天井の高い北町ホールはフィルターのメンテナンスがし易い壁内隠蔽型とする
- ・各諸室は天井面に露出型（カセット型）とする

8) 空調の省エネについて

①複層ガラスの導入について

- ・単板 8mm と、複層 5+6+6mm による建物最大負荷時による省エネ量は図書館部で、冷房時 約 10%、暖房時 約 25%となる

②2 階学習室等の小部屋空調機に、冷暖房設定温度変更制限を掛けられるような制御を導入

- ・外気温や使用勝手により削減量が変わってしまうため具体的数値は出せないが、経産省資料によると、冷房時設定温度を今までの 26℃から 2℃上げて 28℃とすると、建物全体で 4%の省エネになるとの試算がある。
- ・暖房時は設定温度を 3℃下げた場合で、4%の省エネ。

9) 換気（熱回収外気処理機）による省エネについて

①熱回収外気処理機のイメージ

- ・空冷ヒートポンプエアコンの外気処理機の室外機の部分に、室内の空調された空気を使用することで、高効率な運転ができ省エネを図ることができる

10) 衛生設備について

—資料 27 及び映像による説明—

①建築

- ・トイレの境壁の遮音を良くするため、乾式遮音壁からコンクリート壁に変更
- ・手洗い器をカウンター式に変更（10cm の台のみ→35cm カウンター+10cm 台）
- ・各プランの配置調整をした。
- ・2階女子トイレの3つの便器の内、1つを和便器に変更

②設備

- ・一般大便器は停電時も使用可能なようにレバー式洗浄タンクを採用
- ・車椅子対応トイレ、だれでもトイレは、振向かずに利用可能なスイッチを設置
- ・一般大便器の各1箇所は洗浄便座式、他は暖房便座式
- ・小便器はセンサー付き
- ・手洗い水洗は自動式で、停電時対応型（電池併用）

2. 緑化計画について

—資料 28 及び映像による説明—

- ・必要緑化面積約 150 m²ぎりぎりである
- ・表通り側で緑のボリューム感ができるように、出来るだけ建物を包むように配置
- ・高中木の根元も低木を密集させる
- ・軒下部も乾燥に強い地被類を密集させる。
- ・道路面との敷地段差による擁壁部や屋上部も、壁面に垂れる形状の樹種を選定
- ・常緑と落葉を混合させ、中央部にシンボリックな桜、夏季に長く花が咲くサルズベリを選定
- ・東南の角は、北一会館の藤を譲り受け移植を予定している。
- ・読書テラスから上階の軒に向けて、市民参加でゴウヤ等の緑のカーテンが出来るようにロープ設置の工夫を行う
- ・地上および屋上に灌水装置を配置
- ・雨樋利用のタンクを配置

3. 福祉の街づくりについて

—資料 29 及び映像による説明—

- ・条例による事項（朱記にて記載）を整備
- ・外部より建物内へのアプローチは東側道路面を主要動線とし、身障者用駐車場を設置
- ・誘導ブロックをエントランスロビーの案内（受付）まで設置し、そこまらはスタッフによる対応とする
- ・南側スロープ入口付近にもインターホンを設置

- ・ 2階も同様に廊下の幅や出入口の幅、便所廻り等について、条例に則ってすすめる

4. その他

(1) 平面計画について

—資料 30 及び映像による説明—

1) 前回からの変更点

① 1階

- ・ エントランスロビー：公衆電話、冷水機、自動販売機置場、ゴミ置場を配置
- ・ トイレ廻り：境壁のコンクリート化、手洗いカウンターを設置、プランの変更
- ・ 図書館 お話し室：ガラスと壁を交互に配置（掲示と音響効果より）
- ・ 図書館 テラス出入口：扉位置の変更とヤングアダルト書架の増設
- ・ 図書館 閲覧コーナーの西側壁：腰部のみガラス（植栽が見える）、上部は展示壁に変更
- ・ 蔵書数は 55,804 冊（前回の 56,504 は誤り）

② 2階

- ・ トイレ廻り：境壁のコンクリート化、手洗いカウンターを設置、プランの変更

③ 生活室

—映像による説明—

- ・ 流しとガスコンロのセットを 2セット設置
- ・ ビルトイン型のオーブンレンジも 1台設置
- ・ 学習室側の壁面に作業台を設置できるような設えとし、電子レンジ、炊飯器、冷蔵庫用のコンセントを設置

※湯沸室、控室、休憩室には小型の電気式給湯器を流しの下に設置

④ 創作室

—映像による説明—

- ・ 窓際に流し台（2台）と作業台を設置
- ・ 作業台にガス栓を 2ヶ所設置

2) 西日対策について

—資料 31 及び映像による説明—

四季における太陽光の方角と角度について、午後 2時と 4時にて検証

- ・ 冬至午後 2時：高度的に日射の影響あり
方位角的に南西方向から斜めに日射を受ける
- ・ 夏至午後 4時：高度的に日射の影響あり
方位角的に西方向から日射を受ける
- ・ 秋分と冬至は南西方向から日射を受ける
- ・ 夏至の夕刻において西日をほぼ正面から受けることになり縦型ブラインドによって遮蔽する（完全にブラインドを閉じた状態）
- ・ 夏至の夕刻以外はブラインドを完全に閉じる必要はなく、外の風景が見てとれる
- ・ 5月から 11月については植栽による日影も期待できる

- ・図書館に入ってきた時に西側が抜けていて外の景色が見えた方が気持ちが良いのではないかと考えたが、南側に窓がくる場合には横型のブラインドが有効となる。

(2) 断面・立面計画について

—資料 32 及び映像による説明—

- ・基本設計時に示した天井高さ（3メートル、一部4メートル）を確保している
- ・ガラスの部分を水色で表現している（立面図）
- ・2階のバルコニーには穴あきの格子ブロックを設置することで、日射の調整に有効である

渡辺委員長	<p>今の説明について何か質問や指摘等があればお願いしたい。 和便器は何故導入されたのか。 我々も地方の公共施設の設計をするが、今はあまり和便器を導入することはない。高齢者の方がお使いになるにも洋便器の方が使いやすいのではないかと。</p>
前川・田中 渡辺委員長	<p>駅前の市民センターにも和便器が設置されている。 市民の方が望まれるのであれば口出しすることではないが、高齢者の方が使いにくいのではないかとという心配と、どうして女性のところは一箇所だけなのか不思議に思う。</p>
田中図書館長	<p>図書館ではトイレの改修を行い、すべて洗浄式のものに替えたが、1階のトイレで和便がほしいという要望があり設置した経緯がある。</p>
浅野副委員長	<p>公共のトイレで和便器と洋便器について調査された方に聞くと、和便器はゼロではない。他人が使ったところに座りたくないという声があって、特に女性の方の要望が強い。</p>
雫 委員	<p>北側の立面図で X15 から X12 が2階の北町ホールになると思うが、ヨガやバレエをする方々から大きな鏡をつけてほしいという要望が出ている。</p>
前川・田中 渡辺委員長	<p>北町ホールの南側（スタジオ側）の壁に大きな鏡をつけている。 先程の西日に関する説明について、開口が西側に開いているので、ある段階から西日が入ってくるが、南側を開口にする可能性もあるのか。</p>
前川・田中 渡辺委員長	<p>南側にしてもブラインドは必要ないわけではない。 南側にすれば日射的には有利だと思うが、そういう検討はされたのか。以前から皆さんが心配されているのは、説明の中では縦型ブラインドで防ぐと言っているが、本当にそれで大丈夫なのかということだと思う。委員会も今回が最後なので、大丈夫というのであれば設計事務所に一任するが、できた後で恐れていた通りになってしまったというようなことにならないようにしてほしい。南側に開口をとれば光は十分入ってきて、西日は全部防げる。そのあたりを言葉でしか言われていないのできちんと検討していただきたい。 図書館は自然光が入ってきた方がよいので、全部を壁にしろという</p>

前川・畑野

話をするつもりはないが、以前からこういった指摘が出ていて、それに対して大丈夫という回答が出てきているので、それを委員会としてお受けして、それで進めてくださいとするかどうかの話である。

渡辺委員長

我々は、まず図書館に入ってきたときに、正面が窓で外の景色が見えるのと、書架になっているのでは窓で抜けている方が閉塞感がなくて気持ちがよいのではないかと考えた。

その考えも分かるが、図書館にも色々あって、おっしゃるような図書館もあれば全部が書架になっている図書館もある。私が言いたいのは、西日というのは明らかな問題になることなので、設計事務所として問題ないようにやるのでデザイン的にこうさせてほしいというのであれば、やっていただいて構わないが、縦型ブラインドしか頼るものがないというのは如何なものか。これについてはすぐに答えが出るものではないと思うので、他に皆さんの方から何かないか。

前回、私が申し上げた電気設備と空調設備については、そのまま進めるという話だったが、私は賛成していない。直管型の蛍光灯でやっている図書館がたくさんあることも知っているが、今からつくる図書館でそれをやるのかという話もあり、少なくとも見上げたときにグレアが出ないような、それくらいのことはやってもよいのではないか。確かに蛍光灯が一番明かりをとる効率がよいので、多くの図書館で使われているが、日本の図書館の光環境は明るいが眩しいということもあって、そうでない方向に向かっているところもあるので、十分検討して判断していただきたい。今回が最後の委員会になるので、しっかりと議事録に残していただきたい。

空調の天井カセット型についても、以前に比べてよくなってきたとおっしゃっていたが、メーカーの話を全部信用して大丈夫なのか。皆さんも飲食店等で見かけていらっしゃるかもしれないが、風が出るところにフィンのようなものを付けている場合があって、非常に見苦しい。小金井市で新設する図書館にそういった事が起こりうるものを付けてよいものか。図書館はメインの施設であるから、慎重にお考えいただいた方がよいと思う。経済的な条件もあって、値段も安くて一番効率がよいものを採用するというのも分かるが、建物全体のなかでどこにお金をかけるかは設計者にとっても重大な判断だと思うので、私はお金をつかうべきところは図書館ではないかと考える。

前川・田中

植栽について灌水のお話があったが、私は灌水をしなくても済む植栽を選んだ方がよいと思う。

渡辺委員長

植栽のなかでも特に屋上で考えている樹種は強いものを選んでい

る。
灌水のシステムは設備にもお金がかかり、ランニングコストもかかる。たとえ雨水の利用が出来るようになっていたとしても、ポンプなどにもお金がかかるので、そういったところにお金をかける必

渡辺委員長	<p>要があるのだろうか。</p> <p>勿論、植栽は大切なのでやっていただきたいし、緑に包まれた地域センターというような設えにしていきたいが、そのために水を撒く設備としてポンプが必要で電力も必要、更にメンテナンスも必要というのは計画として如何なものかと思う。もし本当に必要ならば、小金井市は市民の意識が非常に高いので市民グループと相談して、市民が中心になって管理していくというようになればそれが一番よいのではないか。折角、委員の方々もいらっしゃるのだからはたらき掛けて、すべてを機械に頼らないようにされたらどうか。あくまでも個人的な意見であるが。</p>
前川・橋本 渡辺委員長	<p>そういった意識が高まっていけば灌水もやめられると思う。</p> <p>設備を一度付けてしまうとお金がかかるので、それがもったいないのではないかという話をしている。</p>
前川・橋本 渡辺委員長	<p>雨水を利用できるようにはなっている。</p> <p>すべてを雨水で賄うというのであればそれでよいが、先程の話ではそうではなかった。</p>
前川・田中	<p>併用することで計画している。屋上については自動にするかどうかという話もあるが、いずれにしても給水設備は他のメンテナンスでも必要になるので設置する考えでいる。</p>
渡辺委員長	<p>屋上は灌水しなくてもよいようにはできないのか。地上の部分は非常に重要だが屋上の部分は雰囲気づくりのためのものではなかったか。</p>
浅野副委員長	<p>この植栽については施設講座でも検討グループがあって、市民参加やったらどうかという話が持ち上がっていたと聞いたが、そのあたりはどうか。</p>
渡辺事業係長	<p>やりたいと希望されている方や協力したいと手を挙げて下さっている方はいらっしゃる。ただ、緑化の条件として将来的にやるということが許されるかどうかという問題もある。</p>
前川・田中	<p>今後、担当の諸官庁と更に具体的な打合せをしていくが、基本設計時には将来対応というのは認められないという話をいただいている。民間の建物ではないので可能性はあるかもしれない。</p>
渡辺委員長	<p>緑化については、緑化基準を満たした上で、お金がなくて出来ない部分を市民参加でやっていくというのが筋で、市民の協力が得られないから基準を満たせないという訳にはいかない。</p>
前川・田中	<p>あえて必要面積の150㎡ぎりぎりに抑えているのではなく、それを確保するのも厳しい状況のなかで、如何にボリューム感を出すか検討していきたい。</p>
前川・橋本	<p>委員長が仰っているのは、イニシャルコストをかけないでみんなで作ればよいというご提案だと思う。</p>
渡辺委員長	<p>まず、樹種の選定からいって基本的に灌水しなければ育たない樹種を選ばないでほしいというお願いである。</p>
平井委員	<p>夏から葉を落としてしまう木も見受けられるので、部屋から緑が</p>

眺められるのか疑問に思う。

図書館はその空間に長くいたくなるような、文化都市にとって非常に重要な空間なので、照明などについては気をつけていただきたい。

我々市民の中にもたくさんの方々が図書館を経験なさった方がいらっしやあって、図面を初めて見た時に西日の心配をされていたので、十分に検討していただきたい。

全体としてはよい建物ができるという印象はあるが、まだ細かな注文があるので、これから先どれだけ市民の声を聞いていただけるのか気になるころではある。図書館について考える方々は、いろいろな意見を出し合える組織ができたらよいと考えていて、建物ができても協力をして、よりよい図書館にしていきたいので、そのような協力ができるような建物にしていきたい。

松尾委員

私も西日対策について意見したことがあるが、先程お話にあったような入口から入ってきたときに西側に窓をつけると緑が見えるという考え方よりも、図書館に入ってきたときに本に囲まれたイメージの方がよいのではないかと思う。また、西側に窓で南側に書架が置かれると、どのようなテーマの本がそこにあるか分からない。むしろ西側の壁に書架を置いた方がエントランスから分かりやすく、西日対策にもなる。設計のプロセスは分からないが、最終段階でもあるので、一つの意見として申し上げておきたい。

渡辺委員長

この部分は構造壁ではないので窓の向きを変えることは可能だが、設計者のお考えや建物全体のイメージもあるので、委員会で変えてしまう訳にもいかないが、市民の真剣な声として何度も言うにも関わらず一度も直していただけてない感じがしてしまう。

南側も検討して、よい点もあるがこういった問題があるといったことを出して決まっていれば、あまり問題がないと思う。先程の本の向きについても、本が見えた方がよいという考え方もあれば緑が見える環境も悪くはないので、両方の考え方があると思う。

本日が最後の委員会ということで時間をまとめてとったので、皆さんから一言ずついただきたいと思う。もしもなければこの委員会に参加されたご感想でも、今後についてのご要望でも構わない。

多田委員

出来ればもう少し環境に配慮したシステムを多く採用していただきたいかった。なるべく消費電力を抑えるような取り組みや、屋上緑化についても緑化基準を大きく上回るように、しかも極力お金をかけずに市民参加で出来ないものか。今は環境の時代なのでそういった方向でやってほしかった。例えば照明にしても大部分をLEDにしたり、大量発注によるコストの削減も可能ではないか。

渡辺委員長

照明はだいぶLEDにしてくださっているので、そのあたりは配慮していただいている。

多田委員

今の計画で蛍光灯とLEDの電力量の割合はどれくらいか。

ユニ設備・嘉部

図書館について言うとライン型の蛍光灯をLEDに変えると、消

費電力としては25%程度の削減になる。ダウンライトの消費電力は、LEDと同程度の明るさの蛍光灯の半分程度である。これからまだ進化していく事が予想されるが、現時点では10年ベースで電力量とランニングコストを検討した結果、それほど差がないか、或いはHf型の蛍光灯の方がまだ有利ということで採用を考えている。

多田委員

現在の計画で進めた場合、北町センター全体の電力のうちLEDの占める電力はどれくらいか。

ユニ設備・嘉部

詳しくは出していないが、蛍光灯は高書架の部分なのでそれ程多くはないと思う。

多田委員

過半数は超えているのか。

ユニ設備・嘉部

ダウンライトの個数からいっても半数以上はいつている。

多田委員

給湯や調理器具等でガスの比率を増やしていただきたかった。

前川・田中

空調はすべてガス熱源でやっている。2階の生活室の調理器具はガスで、1階の飲食コーナーについては安全性と他のガスのあるエリアから離れていることから電気を選定している。

桂委員

色々とうとうございました。

これでだいたい外側の部分については出来てきたので、これから運営するに当たって、今実際に色々となさっている地域の方々を市の図書館側の方たちでバックアップしていただきたい。図書館のお仕事をなさるには研修を受けられたり、色々な図書館もご覧になられたり、様々な活動状況等もお調べになられていると思うので、そういったことを生かして、実際に地道に活動している方々を排除しないで両者一体となって進めていけるようになるとうよいのではないかと期待している。

福島委員

私自身は図書館で本を借りて自宅で読むことが多かったのですが、図書館で何時間も過ごすという経験がなかった。今回、この委員会に参加させていただいて、色々な法的な規制があったり、予算の制約や色々な問題もあることを知って非常に勉強になった。先程から話に出ている植栽の件についても、当初図書館に入って緑が見えるのは素晴らしいと感じ、何故西側を開けるのかということも色々な意味で参考になった。ただ、折角こういった機会を設けていただいたので、市も色々な制約や予算の問題もあると思うが、皆さんの意見をお聞きして運用していけるような道も残していただきたい。色々とうとうございました。

中村委員

非常によい施設ができるような期待感がある。前川建築設計事務所の方に厚く御礼を申し上げたい。我々は今回の検討委員会でハード面を中心に討議してきたが、運営面での今後のスケジュールや運営形態、施設名称等についてオープンに向けての予定を市の方から説明していただきたい。

大関公民館長

現時点では具体的に決まっていらないが、来年度から検討を始めて、竣工する半年前くらいまでには決めていかなければならないと考え

渡辺委員長
藤井委員

ている。

市民参加の運営の方法を市の方でご検討いただければと思う。

全体的に建物の外観は、皆さんがそれぞれ理想とするものに対して現実にここで検討してきて80%から90%くらいのレベルではないかと思うが、たとえ90%くらいのレベルだとしても実際に運用していくのは我々市民なので、ある程度のものがあれば利用する我々が運用とかで使いやすいかたちで今後つくっていった方が、ここで考えるよりもかえって小さいサークルなどで検討して公民館や図書館の方々話し合った方が上手く結果として出てくるのではないか。

全く別の話になるが、先程公衆電話と自販機を1階のところに置くスペースを作るという話があったが、2階の公民館部分に置く考えはないのか。

大関公民館長
藤井委員

考えていない。

以前の会で、公衆電話が撤去されてきているという話があったが、災害時には携帯電話がつながりにくいので公衆電話を設置した方がよいのではないかという観点からつけられることになったのではないかと理解している。そういったことを考えられて設置されるのであれば1階だけでなく2階にもあった方がよいのではないか。先程、太陽光発電の説明のなかで、最大で全館の照明が賄えるとの話があったが、最大というのは今日のような晴天時のことをいうのか。

前川・田中

晴天時に照明をつけるかどうかは別として、本日のようなよく晴れた天気のことを指している

藤井委員

その照明の件についても、今日もだいぶ長い議論があったので、ある程度要望をきいていただけたらと思う。ありがとうございました。

雫委員

長い間お世話になりました。

検討委員の皆さんもよく勉強されていて感心した。私個人としてはかなりバランスよくできたのではないかと考えている。私も地元で、一番近いところなので皆さんの期待感は非常に大きい。これから先、図書館にしる公民館にしる運用の話が出てくると思うが、それについても宜しくお願ひしたい。

平井委員

この委員会とは別に公民館が講座を開いてくれていたが、そこに設計事務所の所長さんやスタッフの方が来られて、市民の方の意見を真剣に聞こうとなさっていた姿勢には感心した。そういったことで設計事務所の方にもお礼を申し上げたい。

市へのお願いとして、図書館の家具についてはお金をかけたところはよいものが入っているので、是非その部分に予算をつけていただきたい。もう一点は、当初から申し上げている通り私も文庫連では子ども家庭支援センターに伺っていて、そこにはたくさんの親子連れが集まってくれるのだが、どうしてそれ程たくさんの方が集

まってくれるのかというと、そこには駐車場は15台程度ある。北町については敷地の中で確保するのは無理だが、外部に駐車場をお借りすることは出来ないものか。今ならまだ土地があいているので出来るのではないかと思うのだが、日が経ってしまうとどんどん建物が出来てしまって、それも難しくなってしまう。

その二点をやっていただけると、地域センターの利用度も上がるのではないかと思うので宜しくお願ひしたい。

多田委員

敷地の東側に新たに農協ができるので、農協と協議して出来ないものか。

平井委員

我々図書館に関係のある者は何度もあの周りを歩いていて、農協の一部を貸していただけないものかという意見が出ている。

松尾委員

二年間に渡って市民検討委員会に参加させていただいたが、市の関係者の方々には委員会をつくっていただき、このような機会が得られたことは非常によかったと思っている。前川設計事務所の方には、我々の意見を色々ご検討いただいて感謝を申し上げたい。

これから平成26年の4月開館に向けて、是非市の関係者の方には市民の意見を聞いていただき、運営についてご検討いただくことになると思うが、市民の方々が押しかけるような施設にさせていただきたいと思う。長い間ありがとうございました。

三島委員

この検討委員会に出席させていただいて非常に勉強になった。地元の方々には非常に期待されている。いただいた図面をお見せして話をしているのだが、図書館にしろ公民館にしろ非常に期待が大きい。どのような利用が出来るのか、非常に楽しみにされているので、今後の問題としては運営の話もあると思うが、利用しやすく楽しい施設にさせていただければと思っている。

長い間お世話になり、ありがとうございました。

浅野副委員長

私も大変勉強になった。ありがとうございました。

これからの公共建築という視点も出たが、これからの公共建築を考えると、一つは市民が運用していくという視点、もう一つはコストとの闘いが挙げられる。予算とどう折り合いをつけていくかという問題がずっとついてきて、運営に関してもコストの削減によって今まで出来ていた事が出来なくなってしまうという話をあちこちで聞く。そういったなかで建物としてそういうものに対応できる柔らかな仕組みをつくっておくことが重要だろうと思うので、前川設計事務所には十分なことをやっていただけたのではないかと思って感謝している。今回の進め方だが、私としてはモデルになるような進め方ではなかったかと思っていて、私が属している公民館学会でも、この事例を検証の対象にしたいという声もあがっているくらいで、これから出来上がって運用するまで各地の方々が注目している公民館であるということ肝に銘じて、最後まで見守っていきたいと思っている。ありがとうございました。

渡辺委員長

私自身は小金井市民ではなく、法政大学の工学部が小金井市にあ

った関係でこういった席に参加させていただいたが、実は親しい友人がこの貫井北町の付近に何名か住んでいるので、市民ではないが半市民のようなかたちで参加させていただいた。そういうこともあって、設計事務所の方々にはかなり細かい注文をつけたりコメントはしたが、小金井市民のための施設なので、何とかよい方向に実現していただきたいという願いを込めてのことだご理解していただければありがたい。

今日の皆さんのご意見を伺っても、運営の話は今後どうなっていくのだろうかということに興味をもっていらっしゃるし、ある意味心配もなさっている。ここまでは市民検討委員会というかたちで、設計事務所が入り、市の方も入って進めてきたが、この後工事の段階で色々変更が起きてくることはあり得ることで、先程浅野先生がお話しされたようにコスト問題等色々あるので、その時に残念な結果にならないで、よい討議が出来る仕組みを是非市の皆さんでご検討いただきたい。26年にはこのメンバー全員がよかったと言えるようになることを願っている。

皆さん、長い間ご協力ありがとうございました。

6.次回の日程について

山崎庶務係長

次回は3月を予定している。

これまで皆さんにご検討いただいた内容を実施設計（概要版）原稿の案として前川設計事務所から提示していただき、それを確認していただくことになる。

3月議会の日程がまだ決定していないので、管理職が参加可能な日程は現段階では日曜日しか想定できないが、委員長、副委員長のご予定も現段階では不確定であったり、ご多忙でいらっしゃるため、調整した日程を後日お知らせすることといたしたい。

渡辺委員長

この委員会は3月に締めのあるようだが、我々は大学の卒業式があったりするため、浅野先生と日程調整をして、出来れば複数設定して皆さんにお戻ししたい。

本日は概ねこの委員会のまとめの会になったと思うが、大変ありがとうございました。

(仮称) 小金井市貫井北町地域センター建設実施設計
市民検討委員会 (第5回) 次第

日 時:平成23年12月11日(日)
午前10時～
場 所:市役所第二庁舎8階
801会議室

- 1 設備計画について
 - (1)電気設備 (照明、コンセント 他) について
 - (2)機械設備 (空調、給排水衛生) について

- 2 緑化計画について

- 3 福祉のまちづくり関連について

- 4 その他
 - (1)平面計画について (西日対策含む)
 - (2)断面・立面計画について
 - (3)飲食コーナーについて

- 5 次回の開催日程について

- 6 配付資料
 - (1)照明・空調器具配置図 …実施設計検討委員会資料 26
 - (2)衛生器具一覧表 (案) …実施設計検討委員会資料 27
 - (3)外構平面図 …実施設計検討委員会資料 28
 - (4)福祉のまちづくりに関する資料 …実施設計検討委員会資料 29
 - (5)各階平面図 …実施設計検討委員会資料 30
 - (6)西日対策に関する資料 …実施設計検討委員会資料 31
 - (7)断面図・立面図 …実施設計検討委員会資料 32